

再生・細胞医療ベンチャー from イノベーションハブ 京都

2018

10/29 (月)

18:30 - 21:00

(18:00 受付開始)

@日本橋

ライフサイエンスビル

2階 201 会議室

昨年 9 月に京都大学に開所したインキュベーター「イノベーションハブ京都」から、再生・細胞医療ベンチャー 4 社をお招きし、各社のご紹介と共に、今後の展望などについてご講演いただきます。また、後半のパネルディスカッションでは、4 社の代表取締役をパネリストとして、再生・細胞医療ベンチャーが京都で起業することのメリットを中心に、バイオベンチャーの成長に必要な要素や大企業とのコラボレーションなどについて議論いたします。



城戸 常雄

株式会社オリゴジェン
代表取締役

「神経幹細胞 "OligoGenie" を用いた再生医療製品の開発」



牧田 直大

株式会社マイオリッジ
代表取締役

「iPS 細胞由来心筋細胞の低コスト生産技術と事業化」



進 照夫

株式会社 aceRNA Technologies
代表取締役

「RNA スイッチを用いた細胞選別技術の事業展開」



等 泰道

株式会社 Thyas Co. Ltd.
代表取締役

「Your Cancer, Your Cell, Your Cure
iPS 細胞技術により " 若返った " キラー T 細胞を用いた自家養子免疫の開発」



河野 修己 モデレーター

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
投資部 プリンシパル
パネルディスカッションテーマ

「徹底討論
" 京都で起業 " のおすすめポイント」

Networking Night *with supporters*

プログラム

- 18:00 - 受付
- 18:30 - ご挨拶・イノベーション京都の紹介
- 18:40 - プレゼンテーション
- 19:20 - パネルディスカッション
- 19:50 - ネットワーキング

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階

東京都中央区日本橋本町 2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A6 出口より徒歩 3 分
または JR 総武線「新日本橋」駅 5 番出口より徒歩 2 分



参加申し込み

下記サイトよりお申込みください

<https://linkj-nwn20.peatix.com>



※ LINK-J サポーター・会員の方は、
割引コードをお伝えしますので、LINK-J までご連絡ください。

参加費

LINK-J 会員 ￥500

非会員 ￥2,000

※飲みもの、軽食付（懇親会）

お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:00)

E-mail:contact@linkj.org web:www.linkj.org

登壇者プロフィール

城戸 常雄 キド ツネオ

京都大学医学部卒。医師免許取得。神経内科専門医。同大学院薬理学講座眞崎知生教授に師事し分子生物学で医学博士取得。2000 年に京都大学医学部助手を退職し、米国国立衛生保健研究所 RonMcKay 博士のラボに留学し、神経幹細胞及び胚性幹細胞の研究を行う。2004 年に米国にて Stem Cell Medicine, LLC を起業し、2009 年まで製薬会社と共同で再生医療製品の開発を行う。2009 年より独自の製品開発を進め、新しいタイプのヒト神経幹細胞 "OligoGenie" の開発に成功する。日本で臨床治験を行うため、2015 年に株式会社オリゴジェンを設立。

牧田 直大 マキタ ナオヒロ

2015 年 9 月より京都大学高等研究院物質・細胞統合システム拠点 iCeMS にて研究支援員を務める。2016 年 3 月に京都大学を卒業し、同年 4 月 京都大学大学院工学研究科に入学。同年 8 月に株式会社マイオリッジを設立し、代表取締役を務める。同年 9 月京都大学大学院工学研究科を中途退学し、事業に専念。

進 照夫 ススム テルオ

福岡県出身。製薬会社に入社してタンパク質医薬品開発を経験。その後、薬理研究部門に転籍し、中枢領域の薬理評価を実施。動物試験受託機関で薬理評価部門を立ち上げた後、ベンチャーキャピタルに転職しベンチャーのハンズオンに従事。これらの経験を活かすべく、京都大学 iPS 細胞研究所の知財を基にベンチャー企業を設立。

等 泰道 ヒトシ ヤスミチ

熊本大学医学部卒。医師免許取得。同大学院、高津聖志教授指導にて免疫学で医学博士取得。熊本大学医学部助手、東京大学医科学研究所助手を経て、スタンフォード大学 Garry Nolan 教授のもとに留学、レトロウイルスを用いた遺伝子クローニング技術、ゲノム創薬技術を習得。留学後、バイオベンチャー Rigel 社（米国カリフォルニア州）の立ち上げに参画、さらに同社にて腫瘍学や代謝学分野の創薬研究開発（創薬標的の同定と前臨床試験）ならびに治験薬許可申請に研究主事 /VP として従事。2017 年 6 月より現職。

河野 修己 コウノ オサミ

化学品メーカーで研究職として勤務した後、日経 BP 社に入社。日経ビジネス、日経ネットビジネスなどを経て日経バイオテク編集部にて 11 年間、在籍した。この間、大学・研究機関、企業、省庁、規制当局などを取材し、約 3000 本の記事を執筆。また、「薬づくりの未来」「世界最高のバイオテク企業」「新薬創製」などの書籍出版をプロデュースした。2016 年 4 月より京都大学イノベーションキャピタル(株)に移籍し、主にバイオ・ライフサイエンス分野での投資を担当している。京都大学工学部高分子化学科卒業、筑波大学大学院経営政策科学研究科修了。

